

第2回 JR笠岡駅南北連絡施設等整備検討委員会 議事概要

日時 : 平成30年11月26日(月) 13時30分～15時15分

場所 : 笠岡市役所 3階 第1会議室

参加者 : 委員(委員7名出席, 1名欠席)
: 事務局

配布資料: 次第, 配席図, 資料No. 1～No. 4, 別紙(会議後回収), 別紙(A4)

次第 :

1. 開会
2. あいさつ
3. 報告案件
 - 1) 第1回委員会の主な意見等について
 - 2) 駅周辺整備事例について
4. 議事
 - 1) 駅周辺の整備方針案の見直しについて
 - 2) 整備検討案について
5. その他
6. 閉会

【会議要旨】

1. 開会

2. あいさつ

あいさつ

3. 報告案件について

○報告案件 1) 第1回検討委員会の主な意見等について, 2) 駅周辺整備事例について

1) 第1回検討委員会の主な意見等, 2) 駅周辺整備事例の2点について説明。

(主な意見)

- ・ 駅周辺の駐車場の在り方については, 現在別業務で検討中とあるが検討内容を教えていただきたい。
- 駅周辺整備基本構想の第1段階ということで, ソフト面の取組として駅周辺の賑わい創生に何が必要かを検討している。その中の一つとして交通量や周辺駐車場利用状況について調査を実施し, 調査結果の検証は今後行う予定である。笠岡駅周辺の特徴は, 駅と港が非

常に近いことなので、駅周辺の利活用や人の流れを作るあり方を検討していきたい。

- ・乗換こ線橋が築90年以上とあるが、耐用年数はどれくらいか。また、国道2号の歩道橋についてはかなり古く狭いので、利用せずに道路を横断する人も見られる。
→乗換こ線橋についてはJRの施設で、メンテナンスをしながら使っていくということである。架け替えができれば老朽化対策にもつながっていくので、市としての提案としてはこ線橋の架け替えも考えていきたい。国道2号の歩道橋については、現在補修を行っているようで、維持管理はこ線橋と同様に、メンテナンスをしながら使っていくという状況だと思われる。

4. 議事

○議事 3) 駅周辺の整備方針案の見直しについて

3) 駅周辺の整備方針案の見直しについて説明。

(主な意見)

- ・交通量調査について、雨が降ると、車の台数が増えると思われる。一般車、バス、タクシーに加え、駅からは通学の高校生も降りてくるので、雨の日はかなり混雑するイメージができるが、実際にはどうか。
- ・朝ピークの時間帯に笠岡駅へ自転車で行っていたが、ロータリー内に入れない車が路上で駐車して送迎しているのを見たことがある。
- ・夕方、特に雨の日は思った以上に混雑しているのではないか。朝夕の使われ方から考えるとかなり厳しいと考えられる。南口広場を整備して、笠岡井原線から線路の上を通過して北口にアクセスしている車に南口を利用してもらえれば、北口もすっきりするという提案だと思う。北口のみだと負荷がかかり過ぎているようにも見えるので、南口を開いた方が良いと感じる。
- ・駅南側から北側に向かう笠岡井原線は混雑しており、何度も信号にかかり、時間も長いので、定時運行やJRの運行ダイヤと時間をあわせるのも難しい。南側で乗降できれば、定時運行がしやすくなるのではないかと思うが、現状でも通行量の多い国道2号の交通量がさらに増える可能性もあるのでいかに分散できるかが課題だと思う。
- ・駅前広場は送迎で朝夕混雑しているという状況は把握しているので、分散できるのであれば南口があるのが望ましいと思う。国道2号の交通流を考えた広場の位置等の検討が必要である。
- ・駅前広場の東側は道も狭く、路上駐車があると車の通行が危険だと感じる。駅西側のロータリーは入ることのできる台数が少なく、ラッシュ時には入れない車もみられるので、代替地検討は必要だと思う。

- ・バス・タクシーに与える影響も大きいので、円滑な流れが駅周辺に生まれるための1つの案として、南口改札に加え送迎車の乗降を南側に整備することが考えられる。また、送迎スペースは限られているので、時間貸駐車場の整備も要検討である。

○議事 4) 整備検討案について

4) 整備検討案について説明。

(主な意見)

- ・⑤案は改札が2箇所になるが、南口にも駅員は配置されるのか。改札の利用時間帯が制限されると、時間外は一旦自由通路を上って北口へ行き、こ線橋を上るという状況になってしまうのではないかと。
→最近機械のみの改札口もあるので、駅員の有無等については今後JRと調整・協議していくことになると思われる。市としては常時開放して利便性の向上を図りたいと考えている。
- ・港へのデッキを東側に配置して、駅から港まで最短距離で結ぶ案はあるか。整備案で示している港方面への階段の降り口は、歩道もなくトラックの通行も多い場所にある。歩行距離も長くなってしまうので、利用者の使いやすさを最優先にデッキの位置を検討していただきたい。
→今回の検討案では、港までの経路が分かりやすく、歩道を確保できる場所を選んでいる。検討案は民地への支障を避けた結果であり、デッキの位置等については今後の協議によるところもあるので、今後の参考にしたい。
- ・本当に整備は必要なのかというところから議論していけたらと思う。南口は、JRの利用者にとってはあれば便利なので必要だと思うが、ロータリーも地下道も踏切もあるので、南北分断の解消だけが整備目的であれば自由通路の整備は必要ないと思う。また、前回の委員会で話題に上がったように、身の丈に合った整備を考えるならば、整備をしたとしても、⑤案の自由通路整備まで、港へのデッキは必要ないと思う。
- ・各案の想定費用には、デッキ部分も含まれているか。
→想定費用では、用地費とデッキは除いている。事業を行う上で重要になる費用対効果の検証を今後行っていく予定である。それを踏まえて段階整備も含めて整備できる内容を示していきたい。
- ・今回は、南北の移動がスムーズになるために整備が必要であるということの理解が得られれば良いと思う。その中でも案⑤は最も工事費が低いが、南改札口はICカード対応の改札機と券売機を設置し、駅員は配置されないイメージか。
→南口改札はそのようなイメージであるが、案⑤では北側駅舎からこ線橋を越えて南側へ行く距離は現在と変わらない。各案について、分かりやすい動線になっているかご意見をお伺いしたい。

- ・整備に関して、何割か国からの補助金等が入る見込みはあるか。
→交通結節点であることを前提に、都市総合交通戦略と立地適正化計画の策定した自治体であれば、事業に採択されれば最大2分の1の費用を3～5年の工期に合わせて補助が得られる可能性がある。
- ・笠岡駅は多くのモードがあるので、うまくストーリーを組み立てればユニークな拠点になり補助が得られる可能性は高いと思う。比較検討表では案③に都市側機能の導入とあるが、どのようなものか。また、駅舎は作り直すということか。
→簡易橋上駅の1階部分を利用して、例えば観光案内所などの都市側機能の導入が可能であるが、既存駅舎と同じ場所に建て直す案なので費用もかかる。
- ・案⑤はこ線橋を掛け直すことに加えて、自由通路とうまく接続させて南口を作るイメージで良いか。
→上りホーム利用者は、地上改札とフラットにつながってすぐに電車に乗れるので、非常に便利だと考えている。アクセスが改善されれば、現在の駅舎はとても利用しやすいと思う。
- ・まちを賑やかにするという意味では、遠回りでもわざと回遊させながら港に向かう動線の検討も必要ではないか。今回の案では駅から他モードへ乗り換えて移動していくことのみが考えられている。
→今年度、実施するイルミネーションも1つの例であり、笠岡高校の地域学では商店街や駅南側の活性化なども議題に上がっている。また、本委員会では、駅周辺整備が議題なので、賑わい創生に関してはあまり議論に挙がっていないように感じるかもしれないが、にぎわい創生事業も実施しており、まずは駅へ人が集まってもらう仕組みを考えて、そこから回遊できる仕組みづくりをしていきたいと考えている。そのためにも、社会実験やフリースペースの導入も考えていきたいので、賑わいに関する事項もご意見いただきたい。
- ・南口を整備すると、線路南側の道は国道2号から東西に抜ける車が増えると思う。シーサイドモールから南口付近は歩道と車道が分離されていないということもあり、現在の交通量でも自転車や学生などの歩行者が危ない場面が散見されるので、歩車分離の整備も視野に入れて検討してほしい。八軒屋踏切についても歩車分離を含めた事故対策も今後検討してほしい。